天龍寺蔵 寫眞帖

台帳外
137
1
福井市立郷土歴史博物館

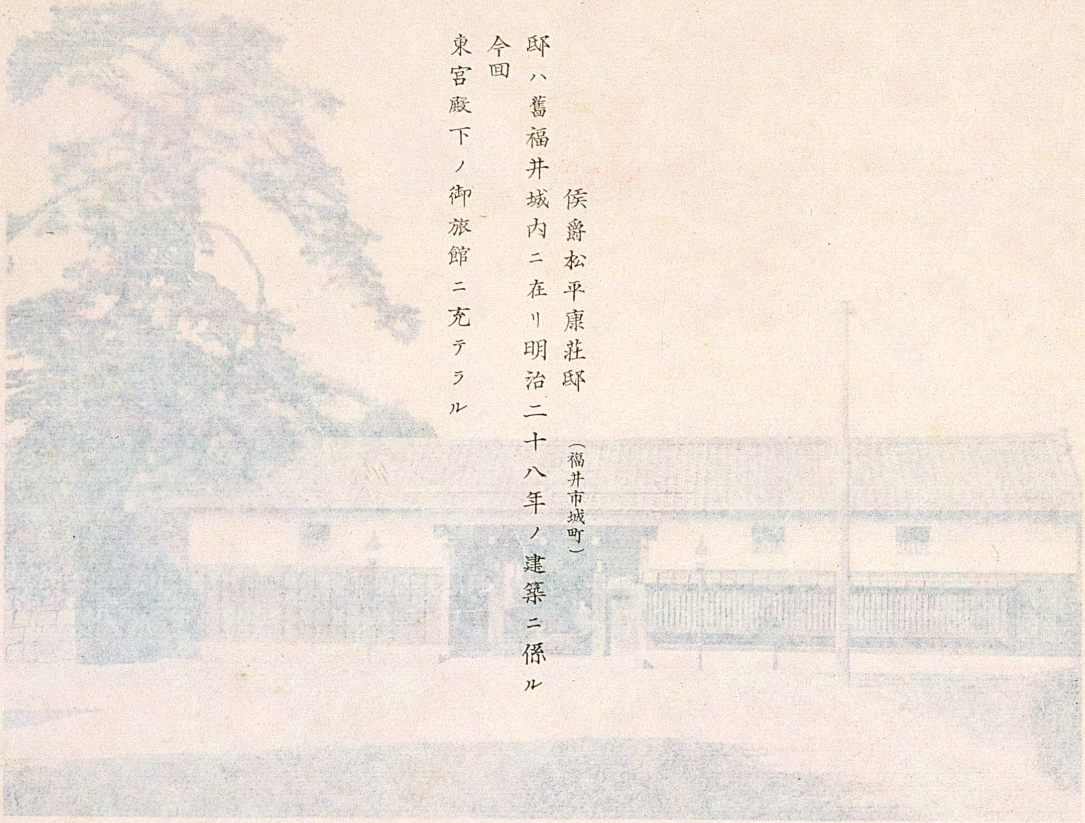
写真
6
1—(4)

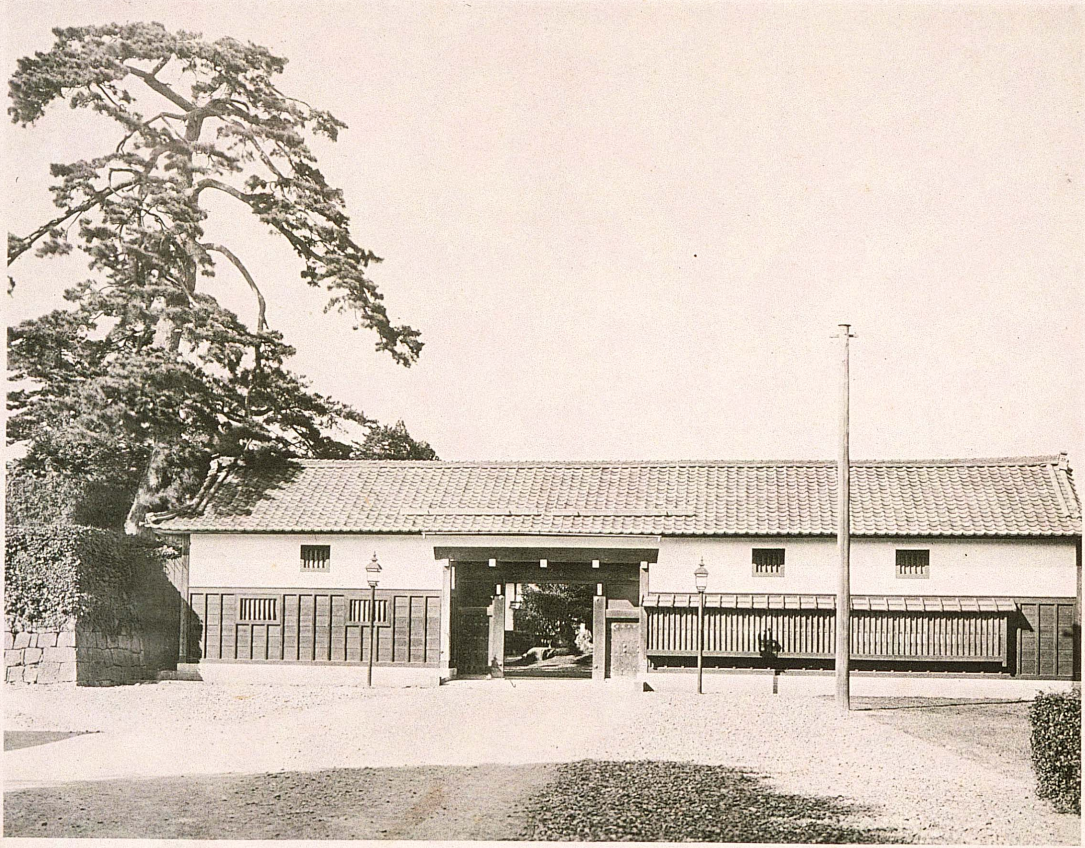
侯爵松平康荘邸（福井市城町）

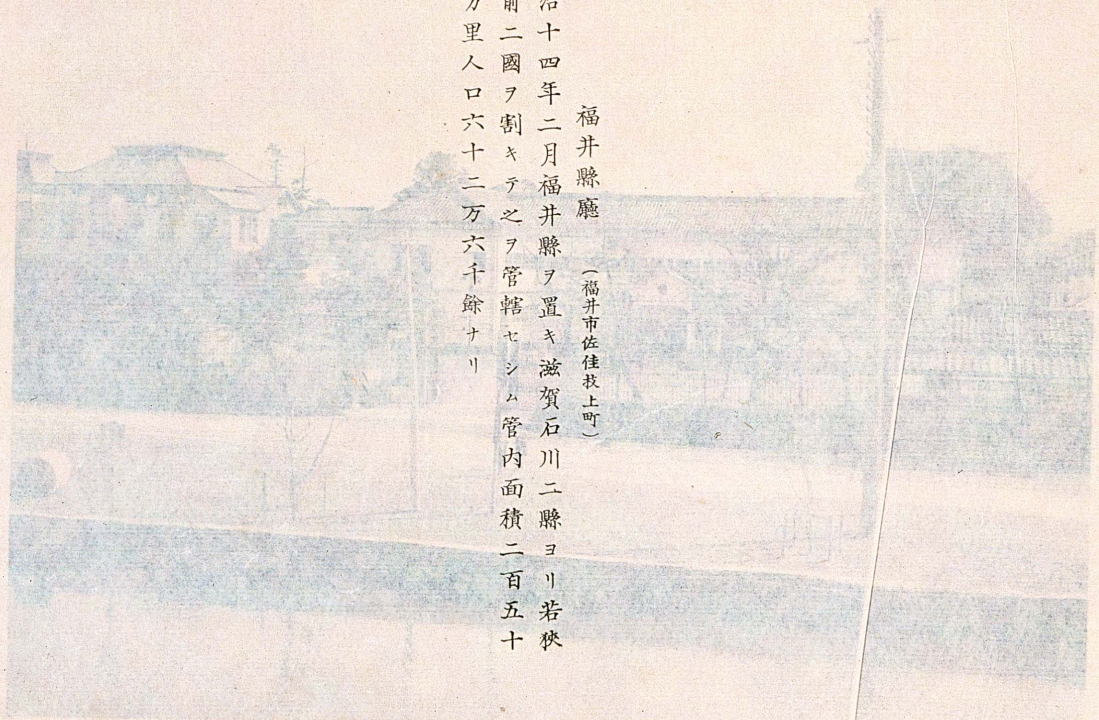
邸ハ舊福井城内ニ在リ明治二十八年ノ建築ニ係ル

今回

東宮殿下ノ御旅館ニ充テラル







福井縣廳

（福井市佐佳枝上町）

明治十四年二月福井縣ヲ置キ滋賀石川二縣ヨリ若狹越前二國ヲ割キテ之ヲ管轄セシム管内面積二百五十九方里人口六十二万六千餘ナリ



福井市役所（福井市佐久良下町）

明治二十二年八月市制ヲ實施シ今ノ位置元佐久良小學校舎ヲ充用シテ市廳舎トシタリシカ明治四十年十二月新ニ建築シテ現ニ石門鐵柵宏壯ナル建物ナリ

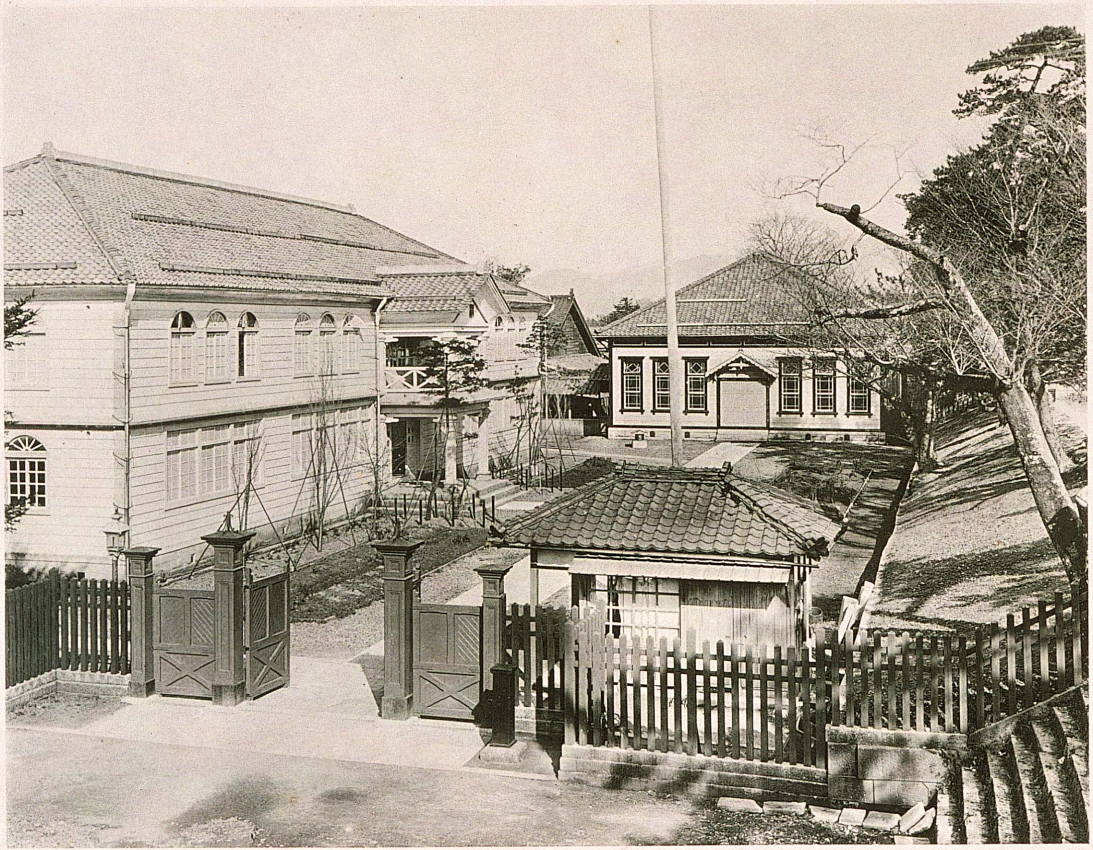


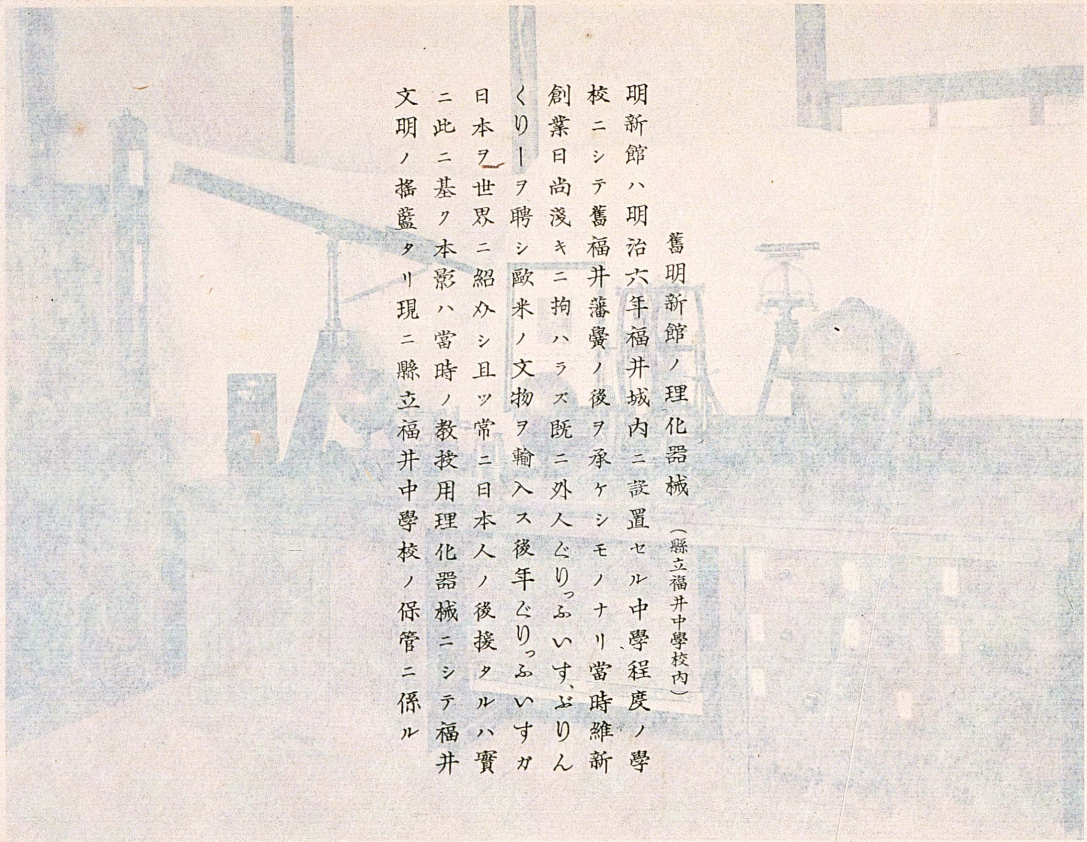


福井中學校

（福井市城町）

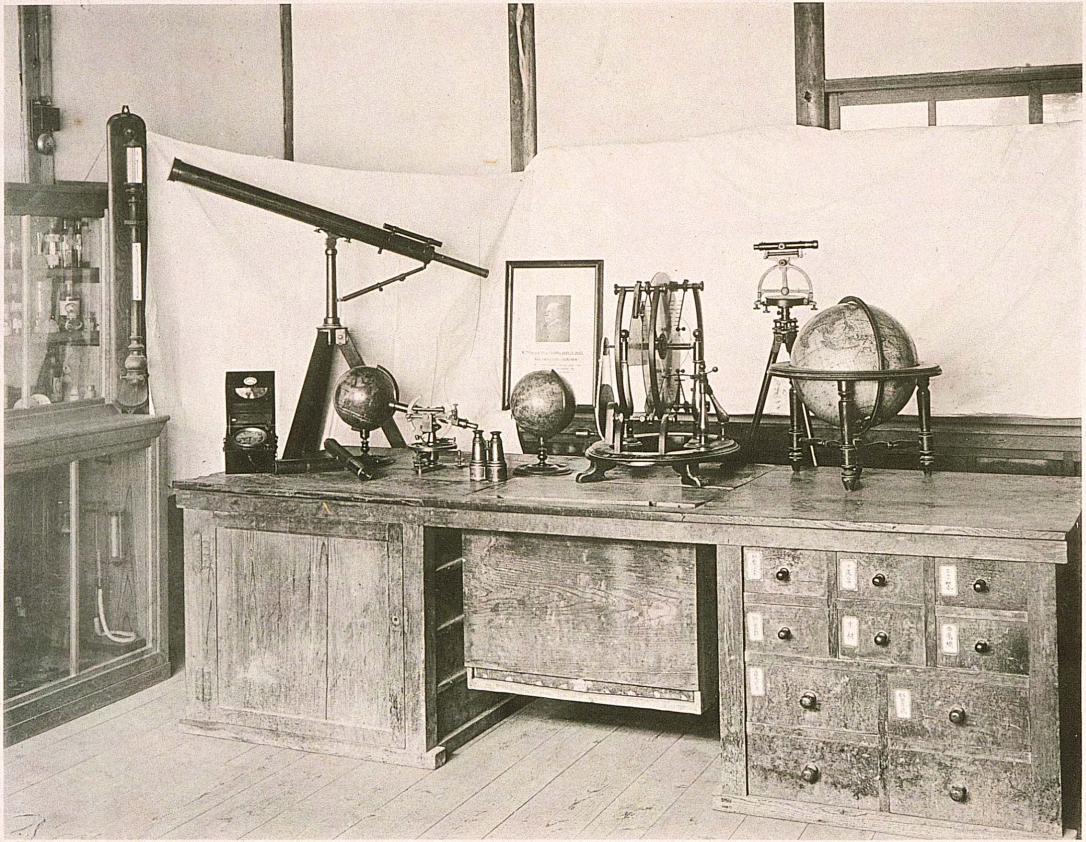
明治十四年福井縣ヲ置カル、ヤ第一回ノ縣會ニテ福井中學校設置ノ議ヲ決シ十五年一月假校舍ニ於テ開校ス現校舍ハ明治十八年福井城内ニ造營セルモノニシテ正面講堂ハ明治三十二年ノ建築ニ係ル

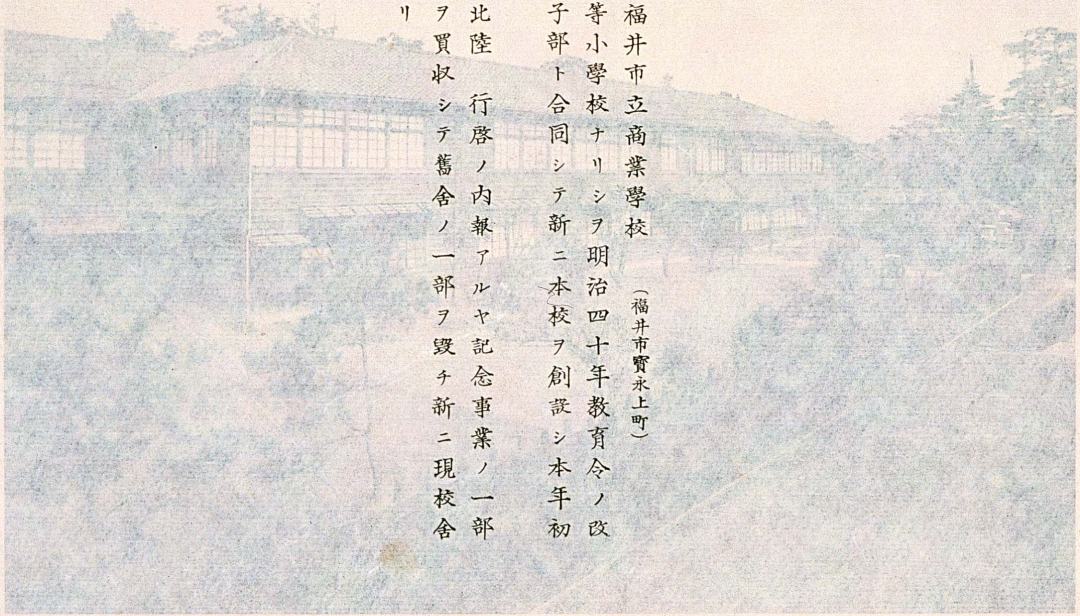




舊明新館ノ理化器械（縣立福井中學校内）

明新館ハ明治六年福井城内ニ設置セル中學程度ノ學校ニシテ舊福井藩費ノ後ヲ承ケシモノナリ當時維新創業日尚淺キニ拘ハラズ既ニ外人ヒリっふいすヒリんくりーヲ聘シ歐米ノ文物ヲ輸入ス後年ヒリっふいすガ日本ヲ世界ニ紹介シ且ツ常ニ日本人ノ後援タルハ實ニ此ニ基ク本影ハ當時ノ教授用理化器械ニシテ福井文明ノ搖籃タリ現ニ縣立福井中學校ノ保管ニ係ル

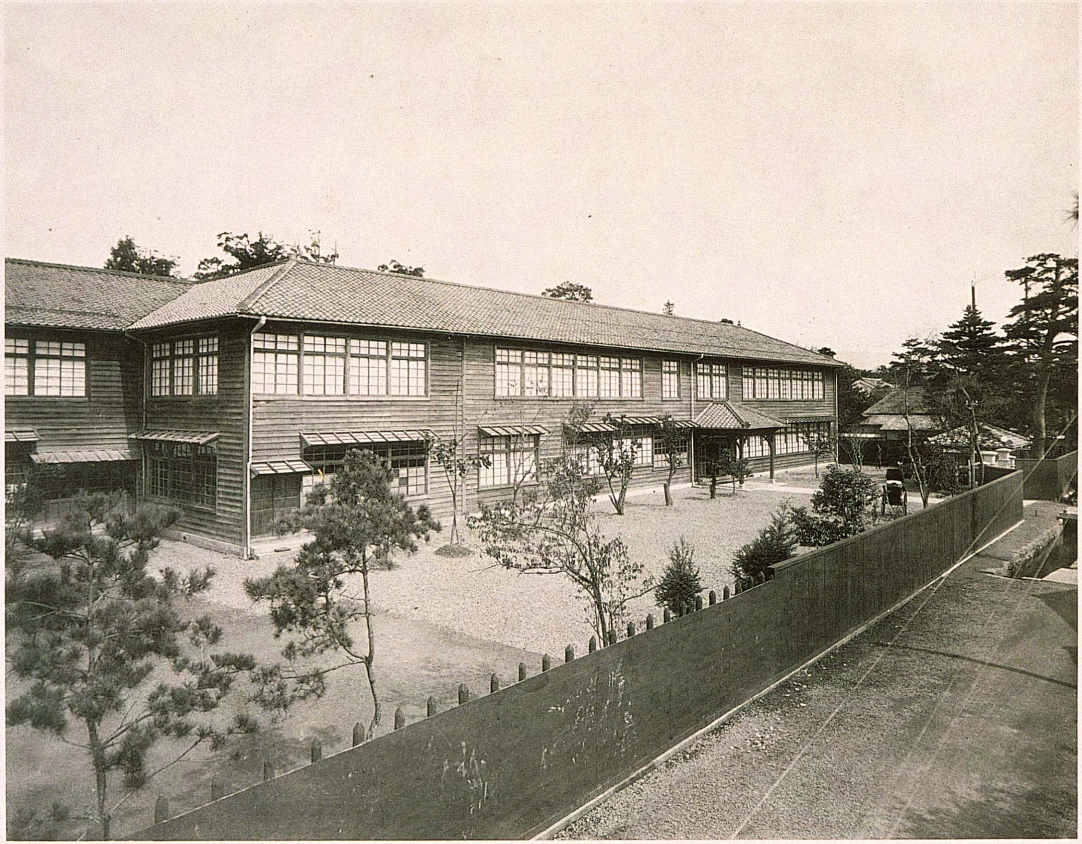




福井市立商業學校

（福井市寶永上町）

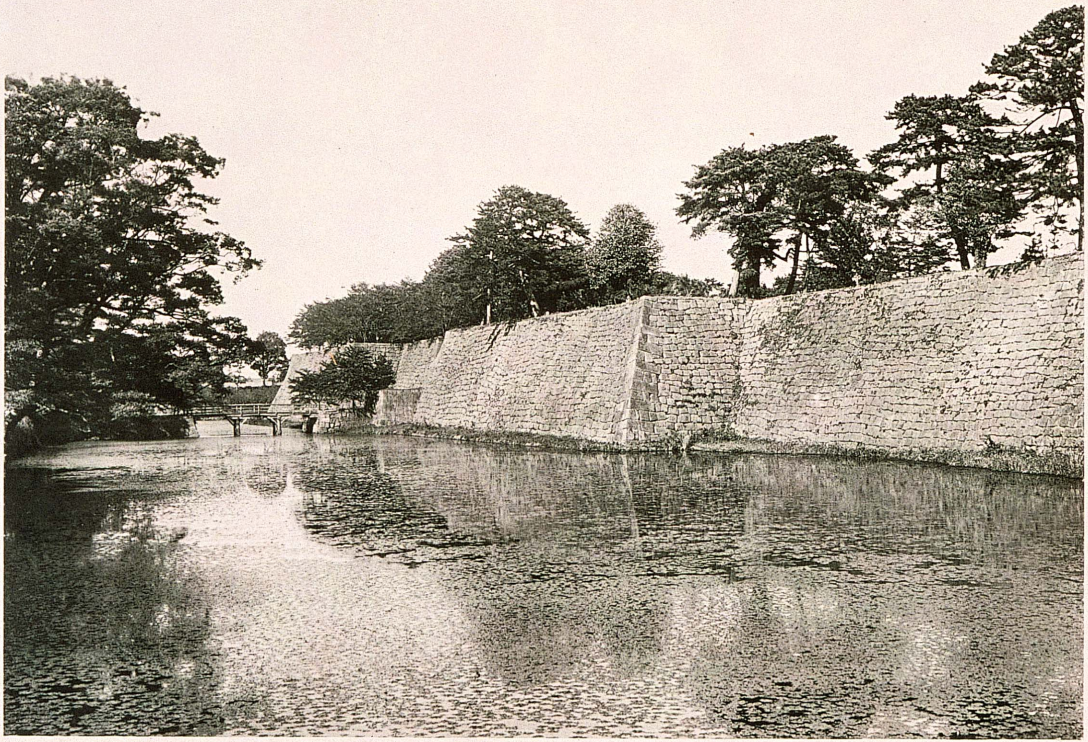
元女子部高等小學校ナリシヲ明治四十年教育令ノ改正ニ伴ヒ男子部ト合同シテ新ニ本校ヲ創設シ本年初春
皇太子殿下北陸　行啓ノ内報アルヤ記念事業ノ一部トシテ隣地ヲ買収シテ舊舍ノ一部ヲ毀チ新ニ現校舍ヲ増築シタリ



福井城趾

（福井市城町）

慶長五年中納言結城（後姓ヲ松平ト改ム）秀康越前ニ封セラレ乃父家康ノ命ニヨリテ本城ヲ築ケリ壁高ク濠深ク規模雄大實ニ北國ノ重鎮ト稱セラル其後十四代ヲ經テ慶永ニ至リ會々藩籍奉還ノ事アリ城亦尋テ廢レ今ヤ棲閣雉堞ヲ存セスト雖モ濠壁尚存シテ坐ニ舊時ノ觀ヲ想ハシム



松平試農場

（福井市城町）

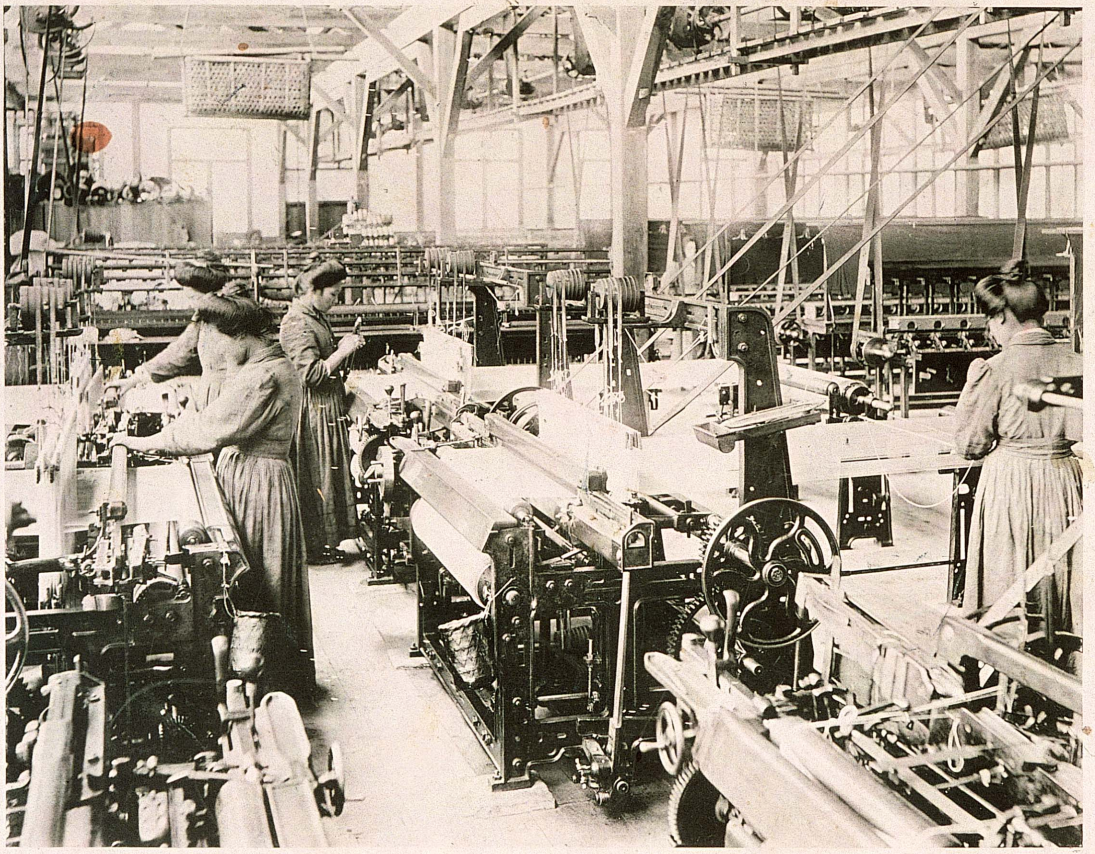
松平試農場ハ舊福井藩主侯爵松平康荘ノ經營ニ係リ明治二十六年福井城趾ノ一部ヲ拓キ之ヲ創設ス場内ニ各種ノ作物ヲ試作シ特ニ蔬菜果樹ノ栽培ニ力ヲ竭シ以テ範ヲ縣下ニ示サンコトヲ期シ又園藝講習所ヲ附設シテ専門ノ教育ヲ施ス等斯業ノ爲ニ貢献スル所勘カラス



工業試驗場

（吉田郡圖山西村）

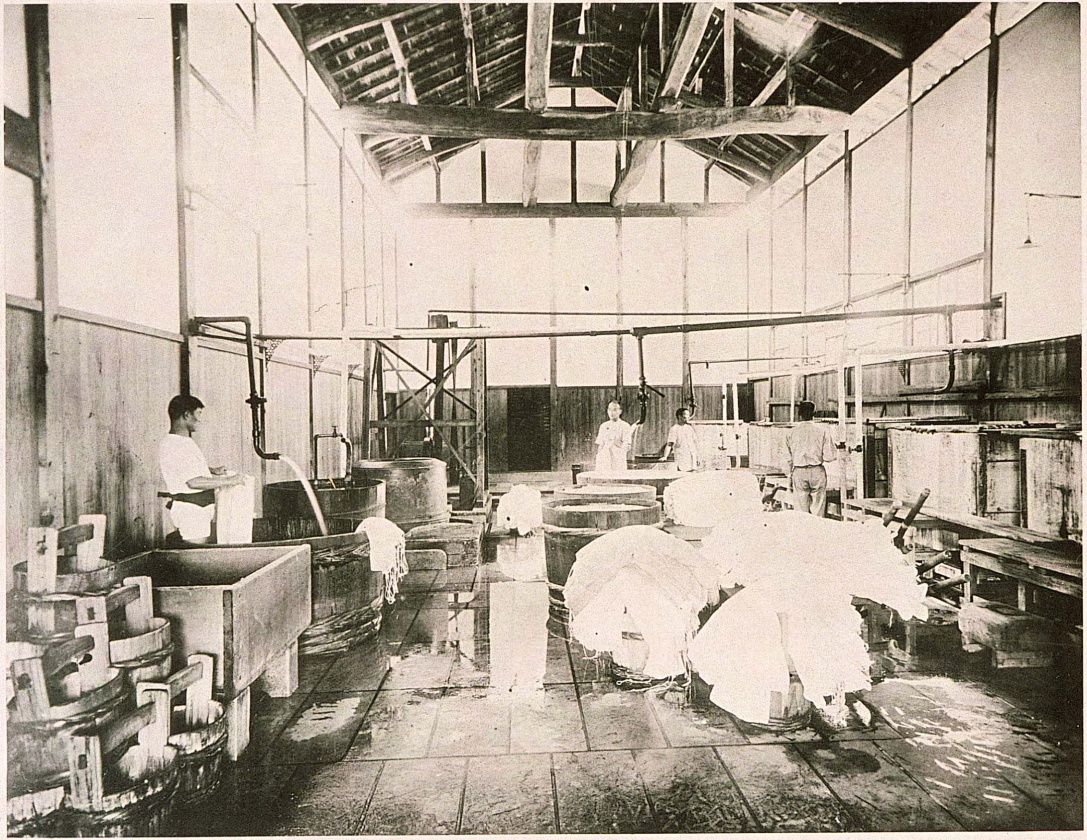
明治三十六年十二月ノ創立ニ係リ年々新式機械ヲ据付ケ染織精練ノ試驗ノ爲シ發明スル所尠ナカラス目下ハ主トシテ當業者ノ難シトスル重目羽二重ノ力織機應用一疋羽二重ノ下拵改良精練ノ改良内地向織物ノ製織羽二重以外輸出織物ノ試製及撚絲染色仕上ニ關スル各種ノ試驗織物機械ノ改良ニ從事シ工業講習所ト聯絡ヲ保チ男女徒弟ノ養成ニ努メ當業者ノ顧問トナリ一般斯業ニ裨益スルコト尠ナカラス本場敷地總坪數一町二畝五歩建物坪數三百二十餘坪職員六名職工男女四十名女子研究生五名ナリ

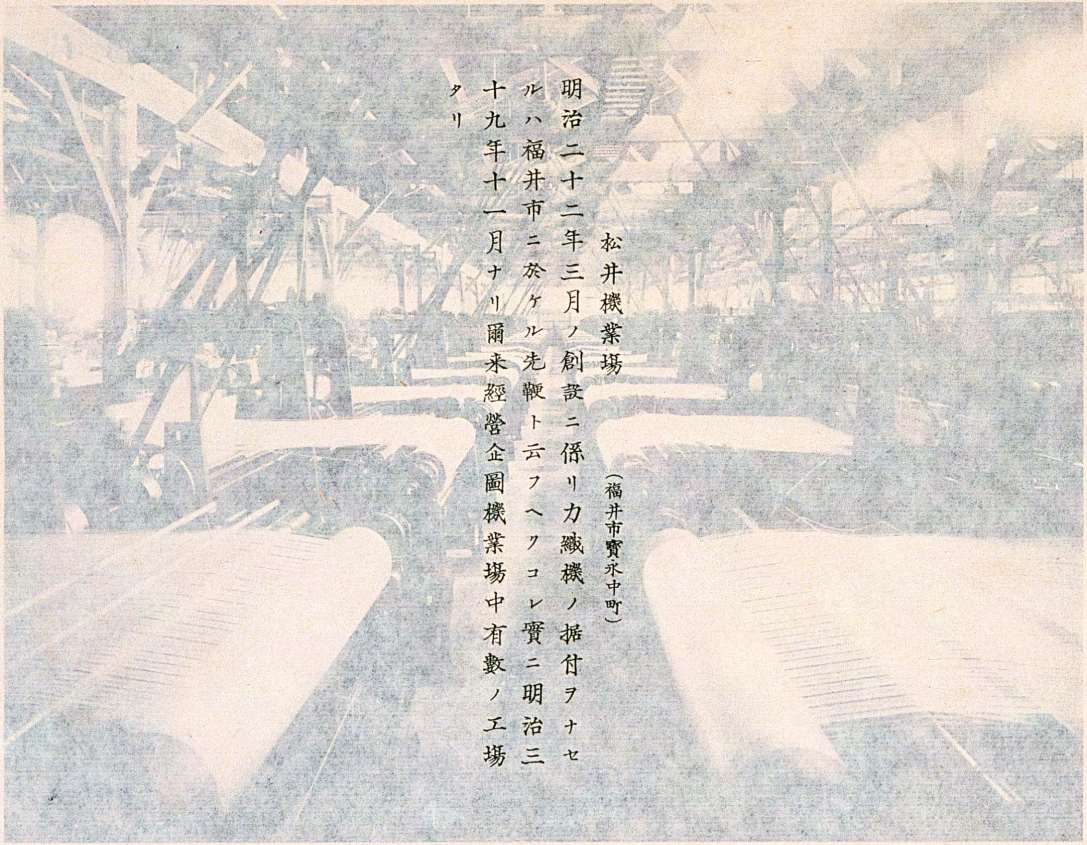




黒川整練工場（福井市寶永上町）

明治四十年七月精練法實施以前ニ於テ夙ニ絹織物ノ整練ニ努力シ工場ノ擴張器具器械ノ設備等苦慮研鑽シテ雲班除去霧吹機ノ改良ハ優ニ本場ノ誇リトスル所ナリ

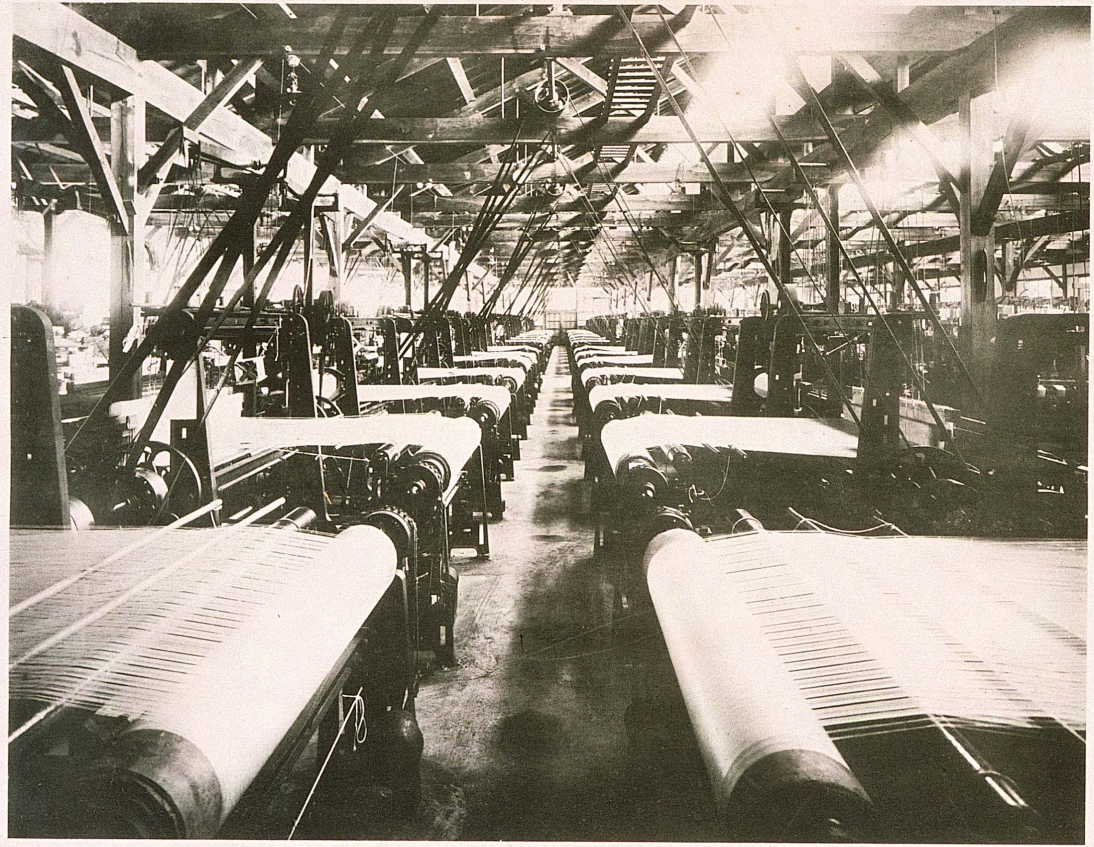




松井機業場

（福井市寶永中町）

明治二十二年三月ノ創設ニ係リ力織機ノ据付ヲナセルハ福井市ニ於ケル先鞭ト云フヘクコレ實ニ明治三十九年十一月ナリ爾来經營企圖機業場中有數ノ工場タリ



九十九橋

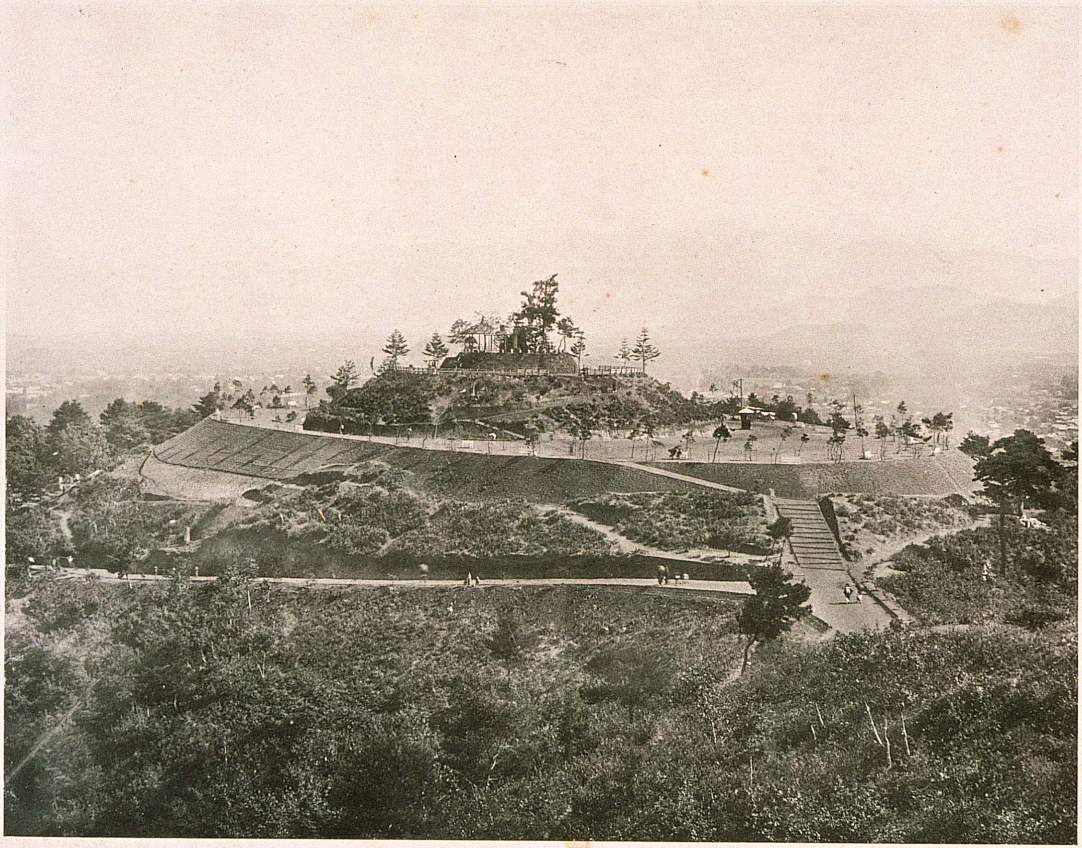
（福井市足羽川）

橋ハ足羽川ニ架シ俗ニ大橋ト稱スルモノ是レナリ天正年中柴田勝家ノ創設セル所ニシテ南ノ一半ハ橋材渾テ石ヲ用ヒ北ノ一半ハ木材ヲ用ヒ奇構ヲ以テ名アリ然ルニ河川改修ノ事アリ加フルニ橋材漸ク老朽セルヲ以テ本年之ヲ改造セリ本影ハ其原形ニ係リ以テ奇構ノ面目ヲ存ス



足羽山公園

明治四十二年初春ニ當リ
皇太子殿下北陸　行啓ノ内報傳ハルヤ記念事業ノ一
部トシテ公園施設ノ議夙ニ有志ノ間ニ起リ全市民ヲ
始メ各種公共團体ノ勞役工事ヲ以テ其功ヲ竣ヘタリ
山ハ甚タ高カラスシテ清寥快濶俯シテ羽川ノ明媚ヲ
瞰下シ仰テ連亘セル翠嶂ノ蹕シテ青嵐ヲ掬スヘク自
然ノ致趣天然ノ景物ニ富メリ

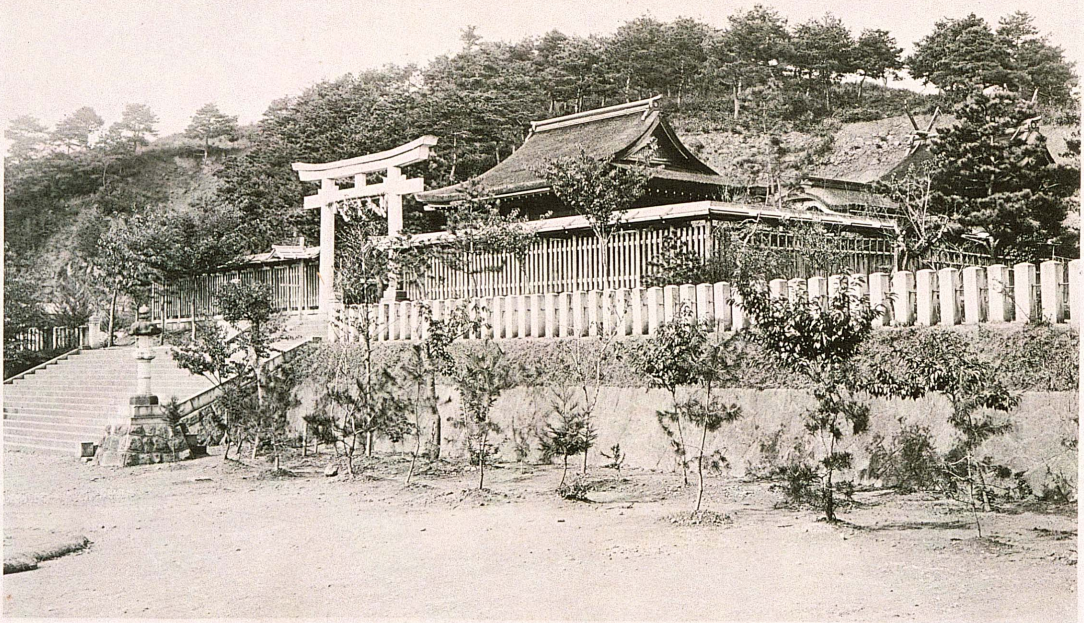


藤島神社　（福井市足羽山）

藤島神社ハ左近衛中将新田義貞ノ靈ヲ祀リ脇屋義助新田義顯義興義宗ヲ配祀ス明治九年十一月七日別格官幣社ニ列セラレ藤島神社ノ稱號ヲ賜ハル社舊燈明寺畷ノ牧ノ島ニ在リシヲ明治三十五年五月之ヲ足羽山腰ニ遷シ其社殿廡牆ヲ新ニシ巍然タル廟貌輪奐莊嚴ノ美ヲ極ム石燈ヲ疊ルコト一百餘級ニシテ廟域ニ至レハ西北欝蒼タル森林ヲ負ヒ東南敞豁ナル郊野ニ臨ミ地高ク境清ク真ニ南朝忠臣ノ神位ヲ安ンスニ足レリ

田天偉策奏殊勲　擧族一心真絶群　盟主齎
推袁太守　數奇空嘆李将軍　卧龍入夢終何
兆　大樹留陰別有薰　祠廟新成人盡賽　香
烟凝作北溟雲

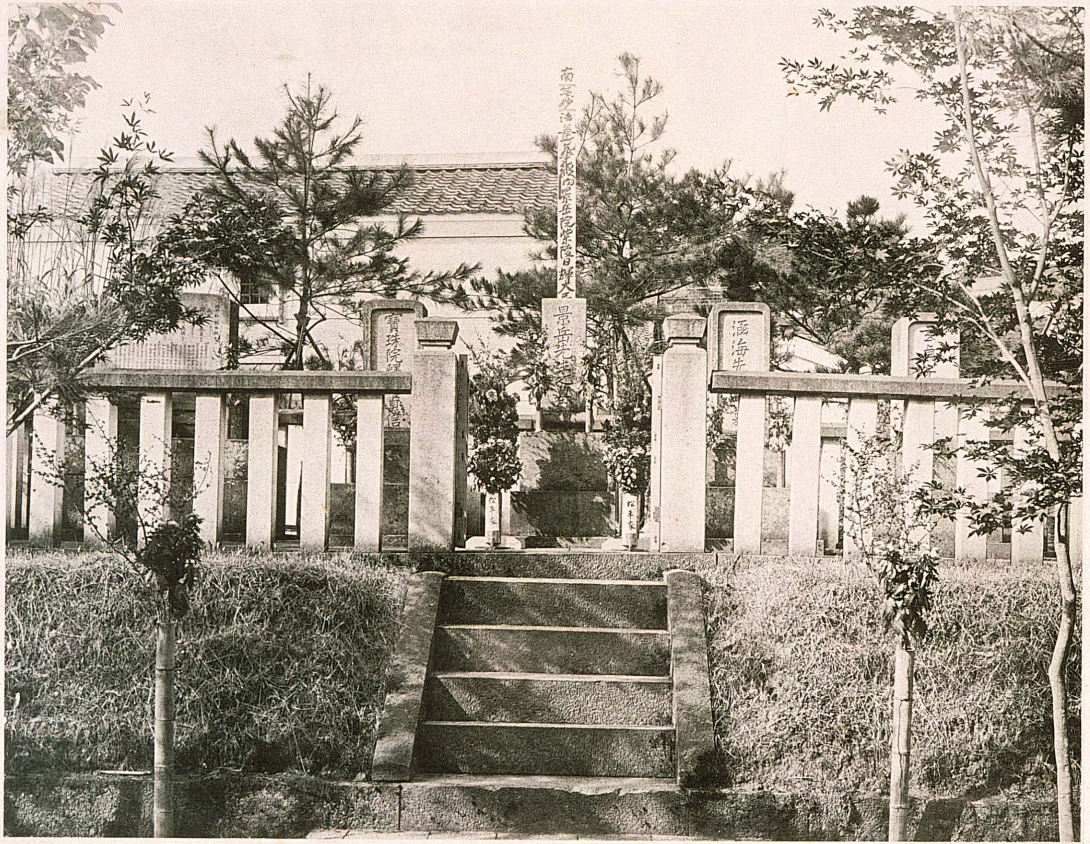
（藤澤南岳）



橋本左内墓　（福井市相生町）

墓ハ橋南善慶寺ニ樹テリ左内ハ勤王ノ名士ニシテ安政年間國事多端ノ際ニ方リ王事ニ奔走シテ幕府ノ忌諱ニ觸レ遂ニ捕ハレテ囹圄ニ下リ斬ニ處セラル享年僅ニ二十有六初メ小塚原ニ葬リシヲ後此地ニ改葬セリ碑石隆ナラスト雖モ靈魂長ヘニ眠ル處香華常ニ絶ヘス

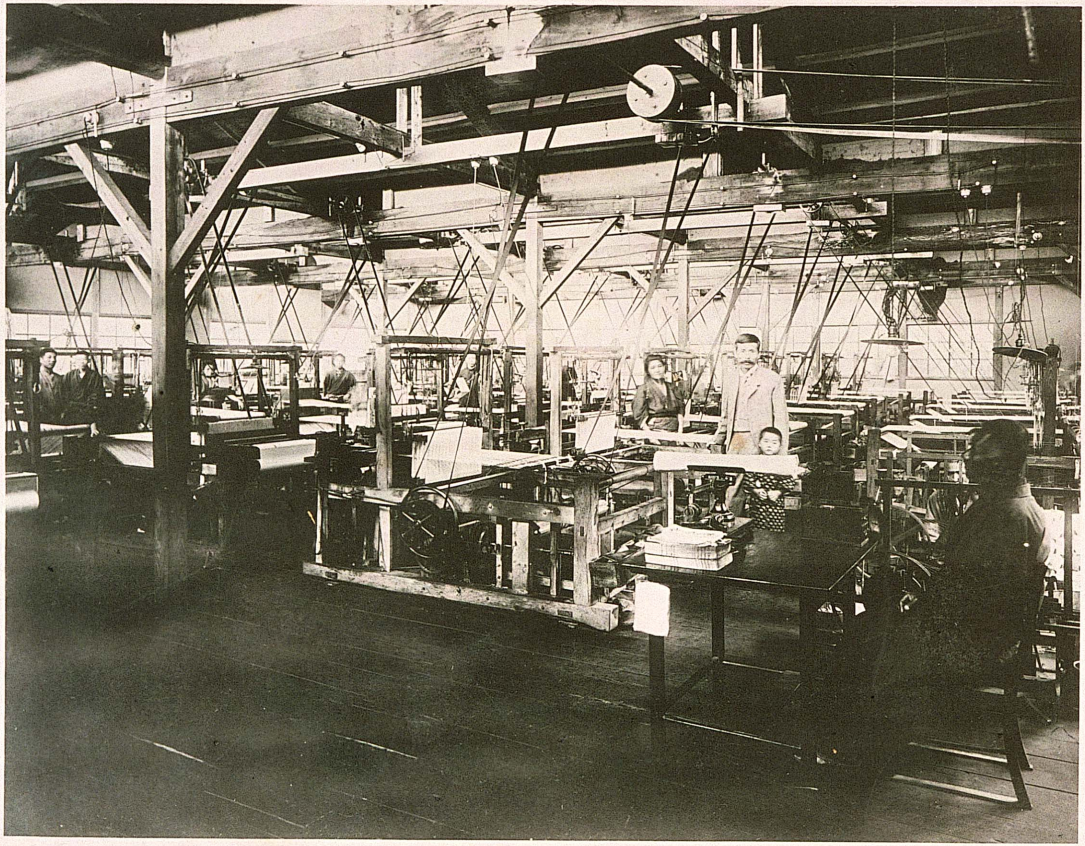
朝廷其功ヲ追賞シ正四位ヲ贈ラル實ニ明治二十四年四月八日ナリ





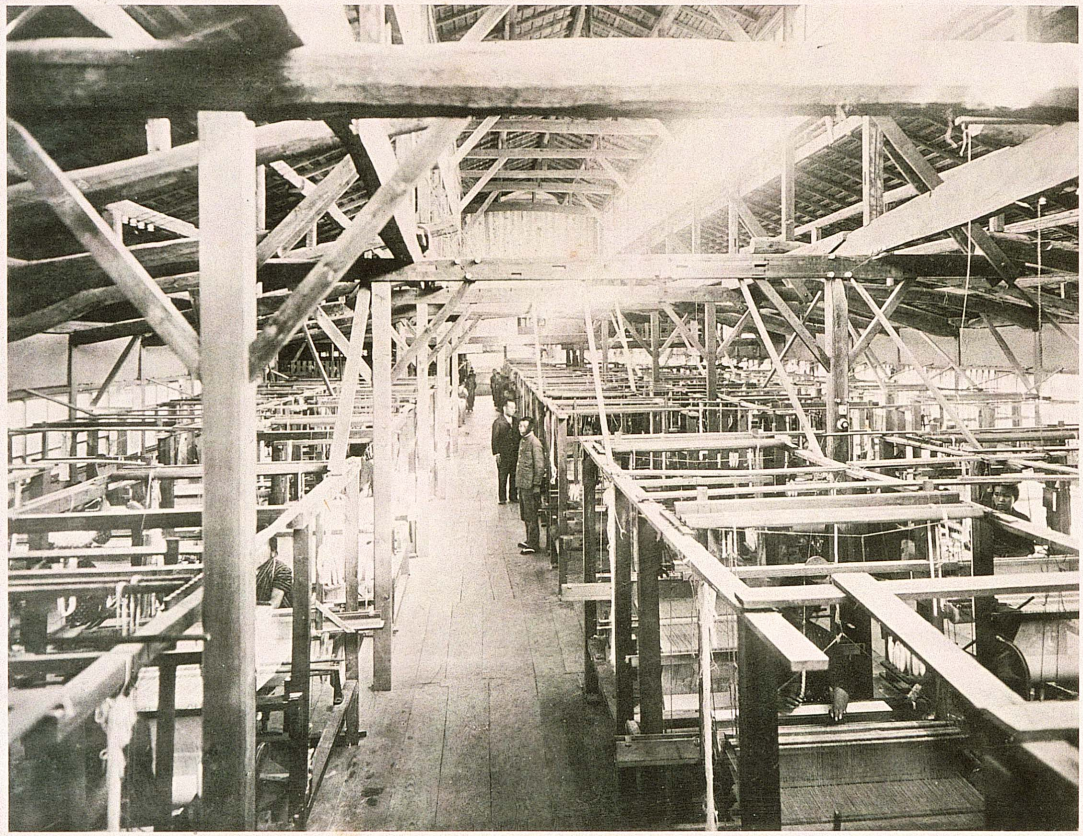
野澤屋摸範工場（福井市松本地方）

明治四十年八月ノ創立ニ係リ工場内部ノ整頓ト職工ノ熟練トハ摸範工場トシテ他ニ一籌ヲ輸シ年額十萬圓餘ノ精確ナル品種ヲ製織ス



北陸製織合資會社（足羽郡木田地方）

明治四十年三月ノ創立ニ係リ職工四百三十八名手織機三百九十五台ヲ有シ本年春特許法ヲ應用シテ大島スワイレン及リソー大嶋ヲ製出シテ大ニ世上ノ好評ヲ博シ目下出願中ニ屬スル實用新案ノ毛織二種ト其他絹毛交織物等ノ考案ハ本工場ノ特製品トシテ愈將來ノ發展ヲ期セントス



燈明寺畷新田塚　（吉田郡西藤島村）

燈明寺畷ハ福井市ヲ距ルコト北方約半里新田義貞戦歿ノ地ニシテ久シク榛莽荒蕪ノ中ニ鎖サレシカ明歴二年大守松平光通石碑ヲ樹テ

曆應元年閏七月二日新田義貞戦死此所

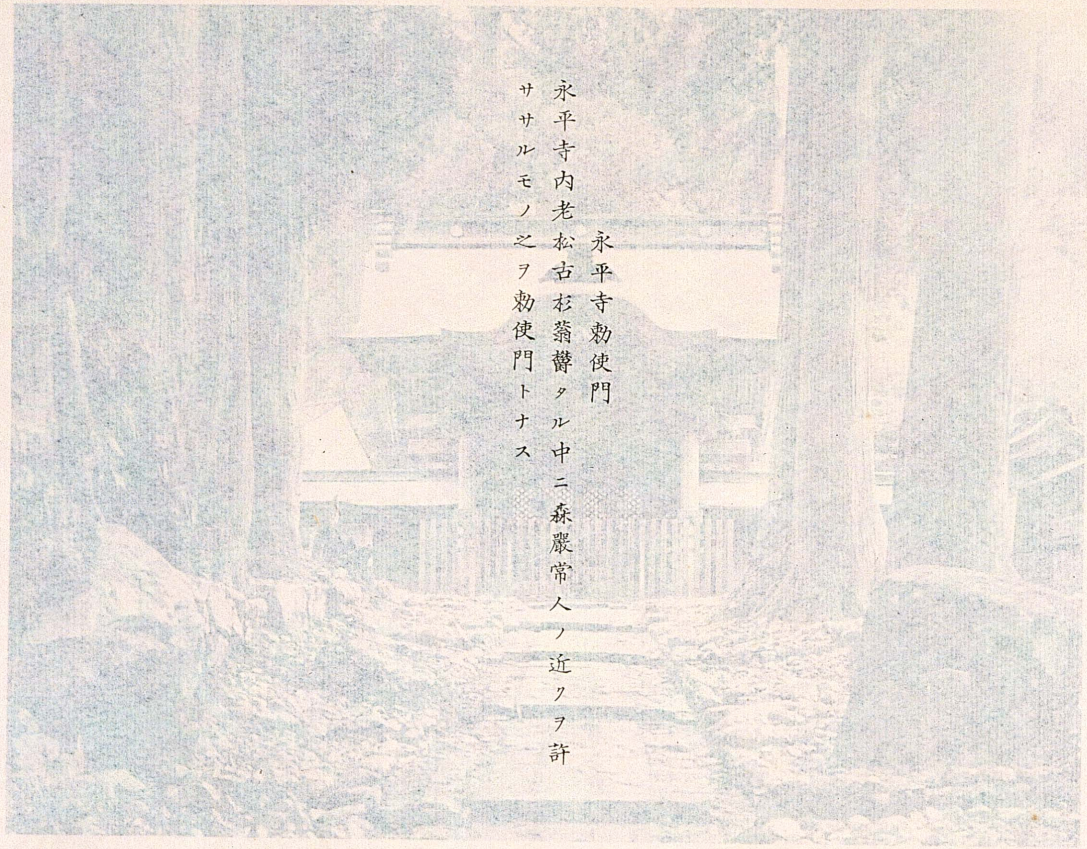
ト刻メリ今ヤ社廠ヲ足羽山ノ東ニ遷セルモ老杉翁欝ノ下尚墓碑一基ヲ存ス

一門討賊立皇雛　成敗是天誰可期　千古崇

褒應廟食　湊川藤島兩神祠

（谷　如意）





永平寺勅使門

永平寺内老松古杉翁欝タル中ニ森厳常人ノ近ヲヲ許ササルモノノ之ヲ勅使門トナス



一乗瀧（足羽郡一乗谷村）

淨教寺山ノ一角神劒鬼劈絶壁千仞瀑布アリ懸ル高長三丈九尺幅九尺宛トシテ素練ヲ晒スガ如シ其上密林翁蒼天日ヲ漏サス幽邃陰官三伏ノ候尚肌ニ粟ヲ生セシム



九頭龍川改修工事　（吉田郡東藤島村）

本工事ハ明治三十三年度ヨリ十ヶ年ニ亘ル政府直営ノ大事業ナリ蓋シ九頭龍川ハ日野足羽其他數百ノ支流ヲ有シ流域越前七郡ニ跨ル大川ニシテ春漲秋潦溢溢四出スレハ其害測ルヘカラス政府此ニ見ルアリ河身ヲ改修シ今ヤ其工事ノ大部分ヲ終ル民魚鼈タルコトヲ免レテ汗邪モ亦滿車ノ豐穰ヲ見ル治水ノ功錄セサルヘケンヤ



三國港灣　（坂井郡三國町）

三國町ハ郡ノ北隅ニ位シ日本海ニ枕ミ東北ハ丘陵ヲ負ヒ西南ハ九頭龍及竹田ノ両川ニ沿ヒ西面ニ港灣ヲ抱キテ北海ノ要津タリ灣口ノ防波堤ハ其築造明治十一年ヨリ同十五年ニ至ル四ヶ年ニ亘リタル大工事ニ屬シ費ス所三十餘萬圓ノ巨額ニ上レリ



東尋坊

（坂井郡雄島村）

三國町ヨリ海ニ沿フテ西スルコト十數町巖礁壁立旁出潮水其中ニ通シ匯リテ潭ヲ爲シ其下亂石磯撥碧潮洶湧ノ中ニ出没ス巖頭ニ立テ下瞰スレハ怒濤雪ヲ噴キ碧潭渦ヲ成シ人ヲシテ神悸レ足戰クノ感アラシム蓋シ風水盪撃呑吐ノ偉觀ヲ極ムルモノナリ



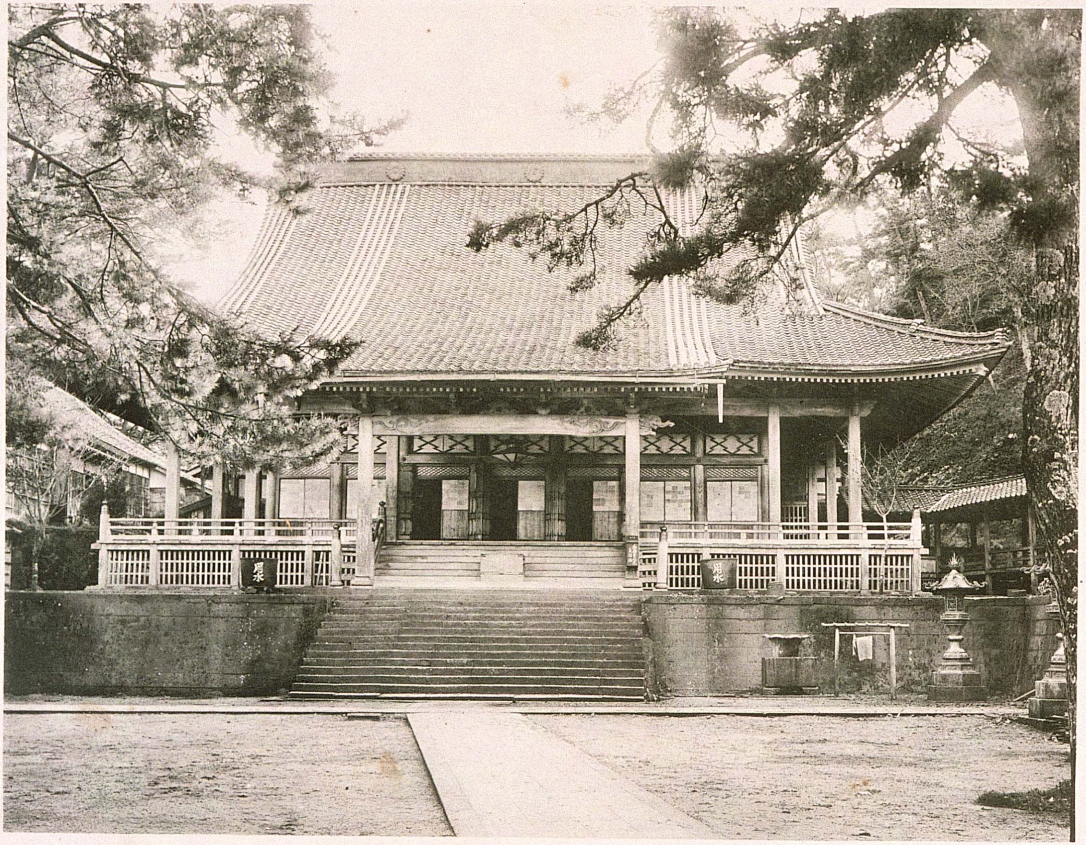
吉崎別院

（坂井郡吉崎村）

吉崎別院ハ本願寺第八世蓮如上人ノ開基ニ係ル北陸屈指ノ名區ニシテ上人ノ芳躅永ク後人ヲシテ景仰セシム開ク文明三年四月上人越前ニ巡錫スルヤ國主朝倉敏景崇敬ノ餘此地ヲ寄附ス其七月上人一宇ヲ建立シ別ニ四十餘ノ塔頭ヲ造築セリト其後兵燹ニ罹リ現今ノ堂宇ハ再建セシモノナリ

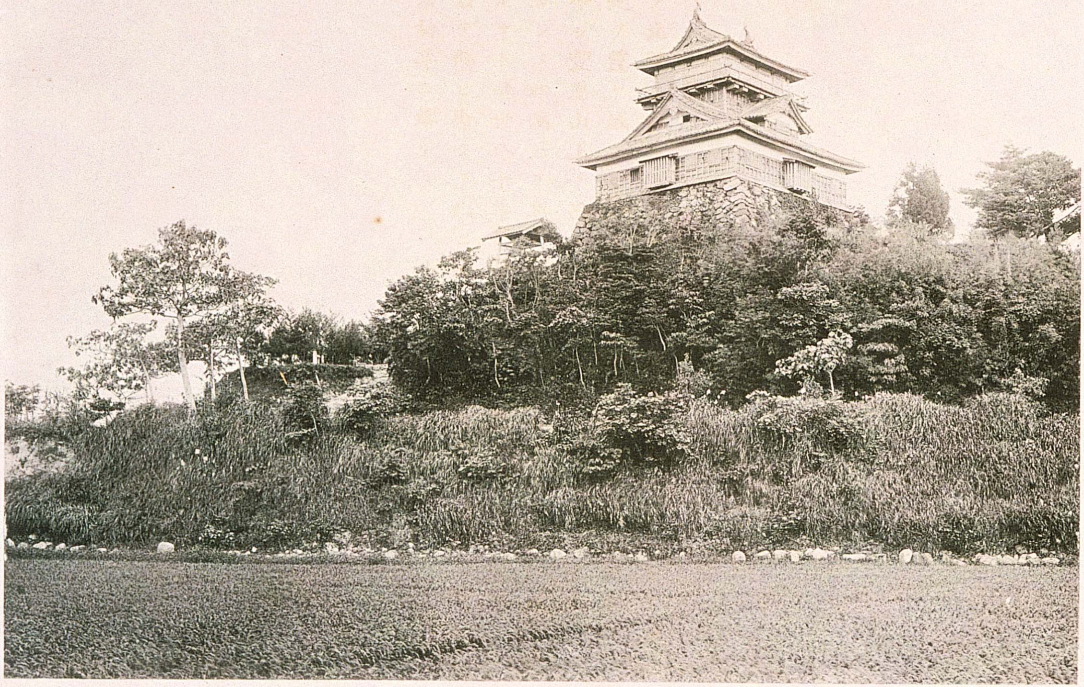
濱坂の山のあなたに打つ浪の
夢おとろかす法の聲かな

（蓮如上人）



霞ヶ城（阪井郡丸岡町）

市街ノ北隅ニ在リテ今尚三層ノ譙樓雲表ニ聳ユルヲ見ル是ヲ霞ヶ城トナス天正三年九月織田信長柴田勝豊ニ命シ豊原山上ノ西ノ宮ニアル霞ヶ城ヲ移シテ此ニ築カシメ四萬石ヲ與ヘテ屋住セシム後本多氏此城ニ屋ルコト四世八十年元祿八年五月幕府有馬清純ニ五萬石ヲ賜ヒ命シテ此ニ屋ラシム以來子孫相紹キ以テ明治初年ニ至ル



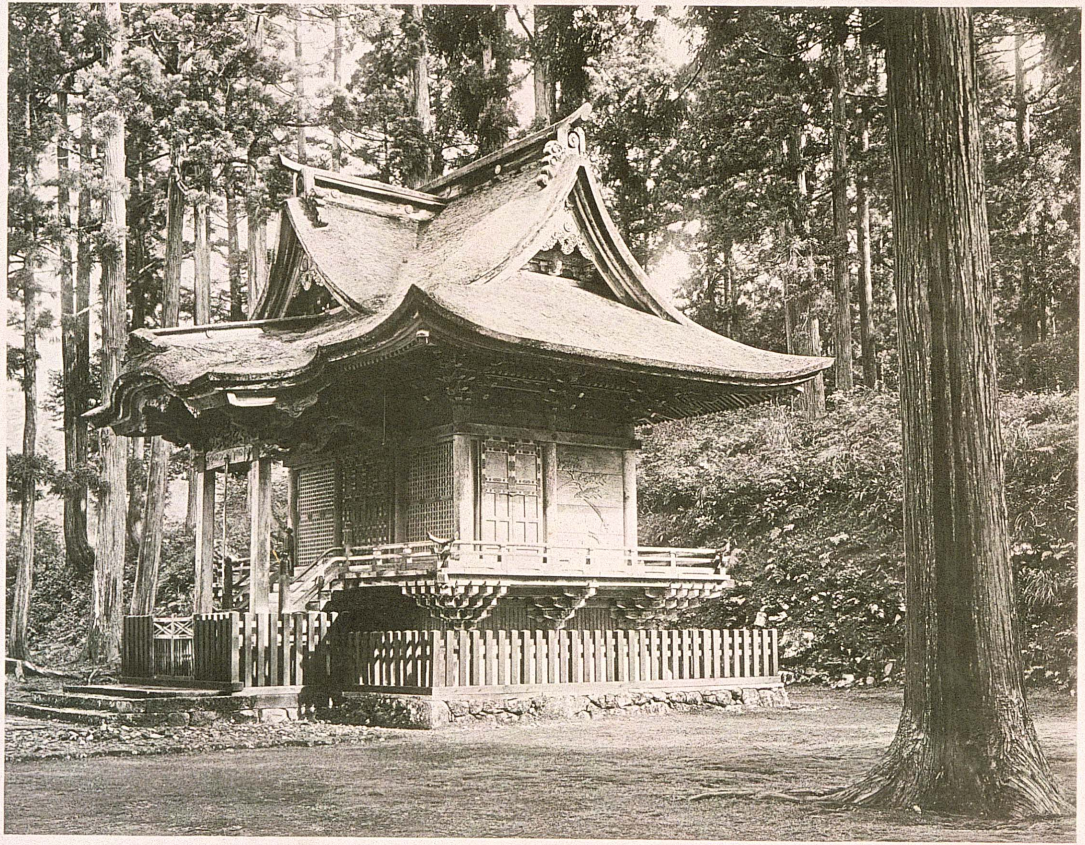
平泉寺

（大野郡平泉寺村）

平泉寺ハ往昔泰澄ノ開基ニ係リ坊宇六千有餘僧徒數万ノ多キニ達シ寺領ノ如キ亦九万貫ヲ有シ稱シテ緇衣侯ト爲シ其勢旺盛ヲ極ム當テ關東ノ僧某登山シテ講堂ノ柱ニ題シテ曰ク

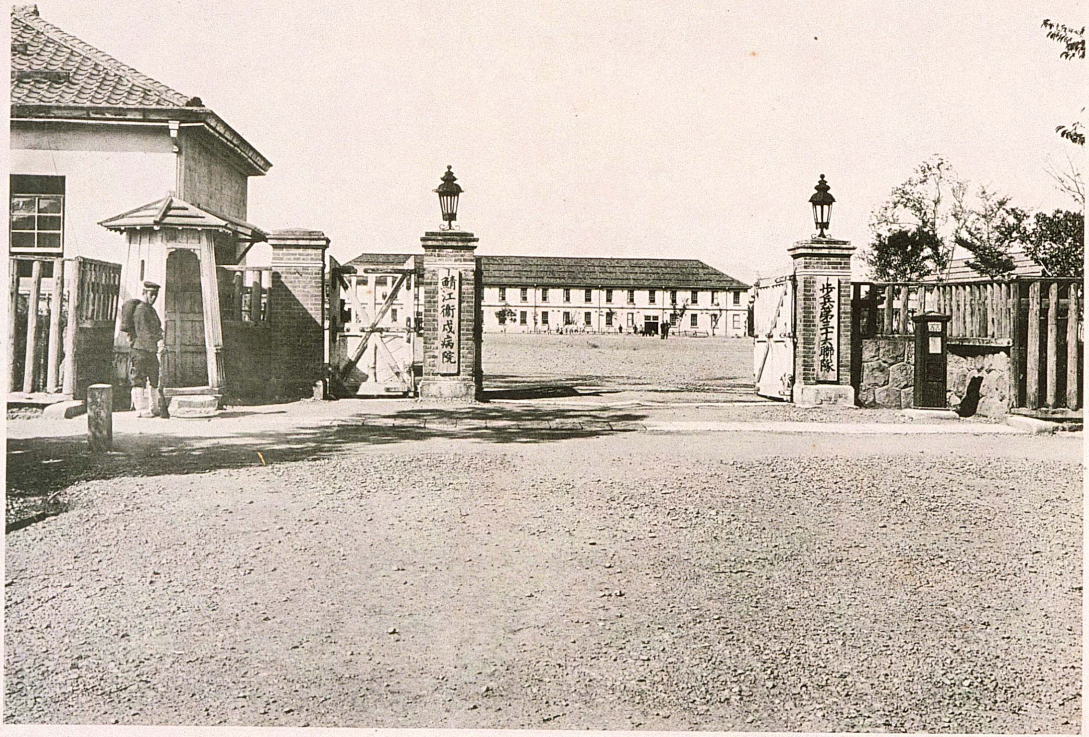
初見平泉秀異鄉　玉樓銀閣數千房　終宵酒宴亦歌會　錦上數花坐繞香

以テ其豪華ノ一斑ヲ知ルニ足ル天正二年二月兵燹ニ罹リ寶閣金刹空シク灰燼ニ皈セリ今ヤ一堂宇ノ存シテ唯老僧ノ磨ヲ冇ツアルノミ



鵜江兵營　（今立郡神明村）

歩兵第三十六聯隊ノ衛戍地ニシテ明治三十一年ノ新設ニ係リ仝年三月二十四日軍旗ヲ拝受ス同三十七年六月日露戰役従軍ノ爲メ海ヲ渉リ山ヲ踰ヘテ萬里遠征シ旅順ニ奉天ニ軍旗向フ所驍令下ル所激戰健闘ク大命ヲ完フシ同三十九年一月凱旋セリ將校中名譽ノ戰死ヲ遂ケシモノ亦尠カラス


朝江衛戍病院
步兵第三十一聯隊

越前岬　（丹生郡四箇浦村）

越前岬ハ長ク北海ニ斗出シ立石岬ト相對シテ敦賀灣ノ口ヲ扼セリ越海ノ怒濤奔激シテ高ク白雪ヲ噴キ奇巖突兀タルトコロ老松長ヘニ風ニ梢ル



杣山（南條郡南杣山村）

滿山樹木鬱蒼トシテ山骨ヲ蔽ヘリ瓜生判官保ノ城趾ハ第一峰ノ半腹ニ在リテ北陸道ノ咽喉ヲ扼シ前後ニ河流ヲ控ヘテ自ラ天險ノ形勝ヲ占ム



敦賀港灣

（敦賀郡敦賀町）

峰巒逶迤郡ノ三方ヲ圍繞シ敦賀地方僅ニ坼ケテ平夷ナリ北部ノ立石岬ハ長ク北海ニ斗出シ越前岬ト相揖シテ灣口ヲ擁ス灣内水深ク浪靜カニシテ大艦巨舶ヲ碇舶スヘク實ニ北陸有數ノ要港ナリ西比利亞鐵道通シテ以來露領烏港ト聯絡シ歐洲來往ノ要衝トナル近時政府カ修築工事ニ着手シタル所以ナリ



敦賀兵營

（敦賀郡粟野村）

歩兵第十八旅團司令部及歩兵第十九聯隊此ニ在リ本聯隊ハ初メ名古屋ニ衛戍シ明治十九年八月二十三日軍旗ヲ拜受ス二十七八年ノ戰役ニ參加シ各地ニ轉戰三十一年五月威海衛守備ヲ了ヘテ歸朝後現戍營地ニ移轉ス三十七八年戰役ニハ第三軍ニ屬シ旅順攻擊及奉天戰ニ參與シ偉功ヲ樹テタルハ人ノ知ル所ナリ



氣比神宮

（敦賀郡敦賀町）

神宮ハ御食津大神以下六座ノ神ヲ配祀ス歴代ノ天皇崇敬淺カラス明治二十八年一月八日官幣大社ニ昇格アリ尋テ三月二十六日氣比神宮ト稱セラレタリ同宮赤鳥居ハ弘仁元年ノ創建ナリシモ現存セルハ正保二年七月十一日ノ再建ノモノニ係ル柱真々二十五尺四寸四分高三十五尺六寸アリ明治三十四年三月二十七日特別保護建造物ニ指定セラル



金ヶ崎宮

（敦賀郡敦賀町）

金ヶ崎宮ハ　尊良恒良兩親王ヲ祭ル去ル明治二十三年九月官號ヲ宣下シ官幣中社ニ列セラレ明治二十六年社殿造營事竣ヘタルモ三十六年災厄ニ罹リタルヲ以テ三十九年ニ再ヒ造營セラル宮ハ山腰ニ建テルヲ以テ敦賀附近ノ勝景ハ悉ク一眸ノ中ニ萃ル

翠巒線繞路彎回　萬頃烟波暮色催　北狩當年無限恨　潮音鎖恕閣巖隈

（土屋鳳洲）



松原

（敦賀郡松原村）

松原ハ敦賀町ノ西ニ在リテ日本海ニ臨ミ廣袤二十二萬餘弓白沙遠ク連ナリ青松攢リ立チ北縹渺タル烟波ヲ望ミテ觴聲緩ク響キ漁歌遠ク聞ユ蓋シ居然タル一勝地タリ

明治十一年

今上天皇北陸　行幸ノ際　鸞輿ヲ枉ケサセ給ヒ深ク此地ノ勝景ヲ叡賞アラセ給ヘリ

龍鱗簇々映蒼空　積翠千茲無始終　時有風聲生樹裡　海濤乍起萬松中

（矢　名）



常宮

（敦賀郡松原村）

本社ハ敦賀灣ノ西北常宮浦ニアリテ天八百萬比咩神ヲ祭リ大寶三年仲哀天皇神功皇后ヲ合祀セラル山紫水明ノ眺瞩ニ富ミ其風光絶佳ナリ



浦見川

（三方郡八村）

三方湖及水月湖ノ剰水ハ舊ト氣山川ヲ經テ久々子湖ニ落チ然ル後チ海ニ注ケリ然ルニ寛文二年五月地大ニ震ヒ氣山川塞リテ通セス湖水横溢シテ沿湖十一ヶ村悉ク水中ニ没ス時ノ國主酒井忠直郡宰行方久兵衛ヲシテ之ヲ治メシム久兵衛地勢ヲ相シ氣山川復舊ノ功ナキヲ知リ浦見坂ヲ開鑿シテ渠トナスヲ可トシ國主ノ允許ヲ得鉅萬ノ資ヲ投シ三年ヲ經テ遂ニ長サ百八十間深サ二十三間ノ渠ヲ成スニヲ浦見川トナス而シテ民魚鼈タルヲ免レテ湖汀ニ新田十數町ヲ得タリ川ノ両岸ハ一面ノ磐石壁立シテ高サ五十餘丈斧鑿ノ痕ヲ見ス殆ント神劉鬼劈ノ概アリ

浦見坂岩きりとほし行水の
流れての世に残るいさをぉ

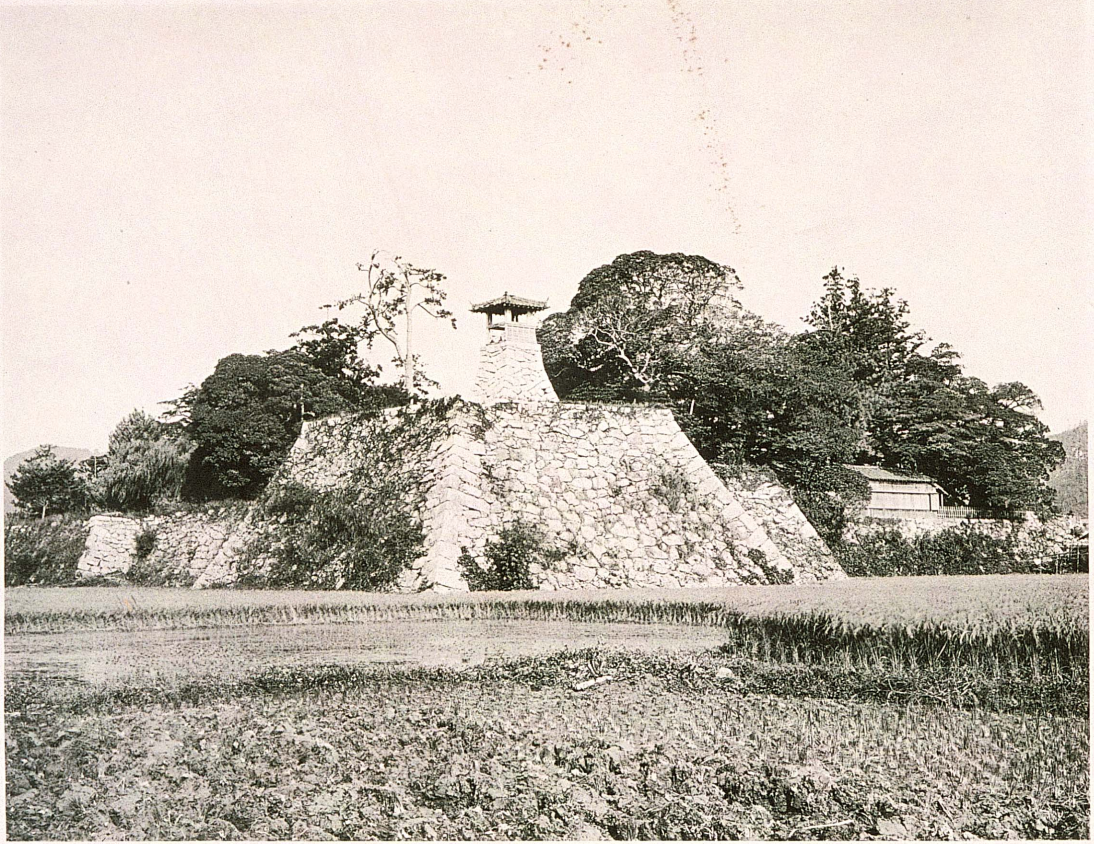
（伴信友）



小濱城趾

（速敷郡雲濱村）

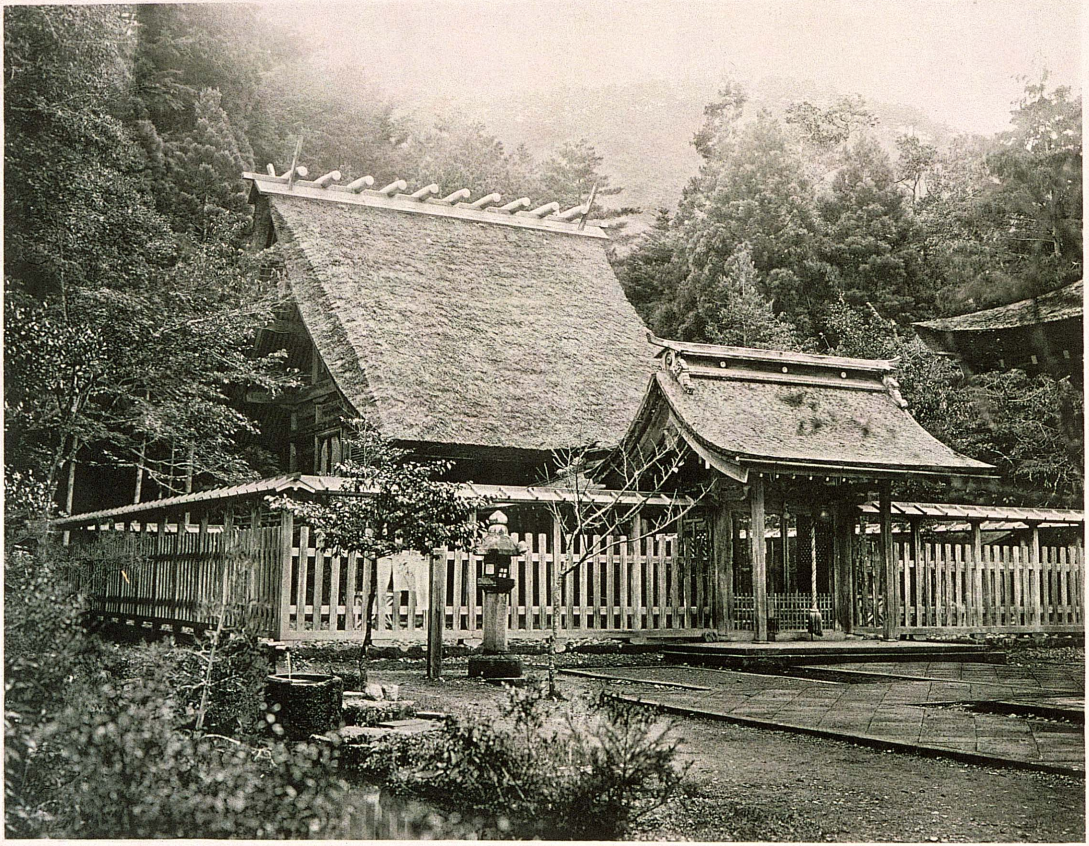
寛永十三年酒井忠勝ノ國守ニ任セラルヽヤ命ヲ幕府ニ請ヒテ天守ヲ本丸ノ内ニ建ツ雉堞譙樓ハ既ニ毀チタレトモ石壁尚存シテ舊時ノ盛ヲ想ハシム



若狹彦神社

（遠敷郡遠敷村）

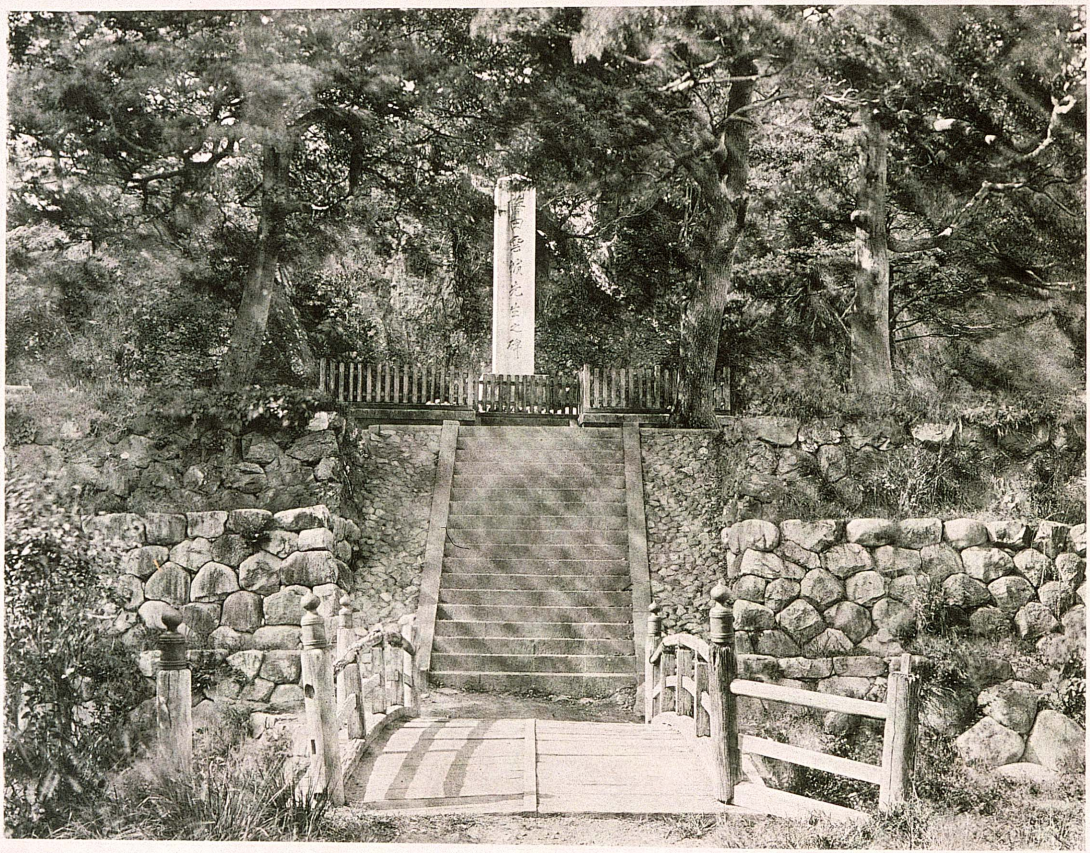
國幣中社若狹彦神社ハ天津日高彦火火出見尊ヲ祭リ稱シテ上宮ト云フ應永二十九年若狹守護武田信豐等神殿ヲ營ミ神領ヲ寄附シテ梁柱豐盛ナリ社殿古雅境内老樹翁鬱トシテ自ラ森嚴ナルヲ覺ユ



梅田雲濱ノ碑

（遠敷郡今富村）

源次郎雲濱ト號シ若狹ノ人夙ニ尊攘ノ大義ヲ唱ヘ慨然トシテ經世ノ志アリ安政ノ疑獄起ルニ方リ雲濱亦捕ハレテ江戸ニ檻致セラレ翌年病ミテ小倉藩ノ邸ニ歿ス明治二十四年四月朝廷其功ヲ追賞シ正四位ヲ贈ラル



髙　濱

（大飯郡髙濱村）

若狹ノ山骨多ク花崗石ヨリ成ル其海岸ニ在ルモノ風濤ノ盪滌侵蝕スル所トナリ山骨露出シテ巖礁欹側シ往々恠奇絶特愕ク可ク喜フ可キ景ヲ成ス小濱ノ蘇洞門髙濱ノ烏帽子嵜其一ナリ本影ハ髙濱海岸風景ノ一斑ヲ示シ兼テ耕地整理ノ一部ヲ示ス

髙濱の磯にありてふ烏帽子嵜
浪の緒かけて風やくるらむ

（智仁親王）



